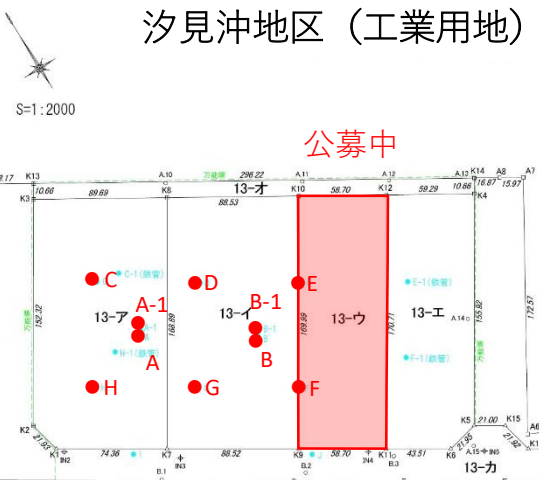


# 土質・ガス調査（汐見沖地区）について

## 汐見沖地区（工業用地）調査孔位置図



ガス探孔位置・座標一覧表

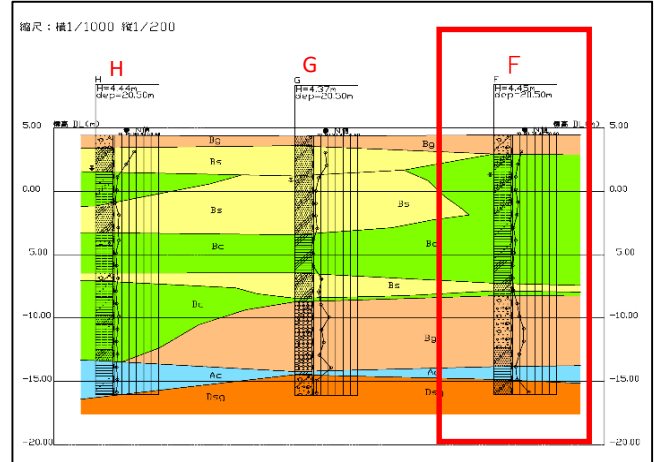
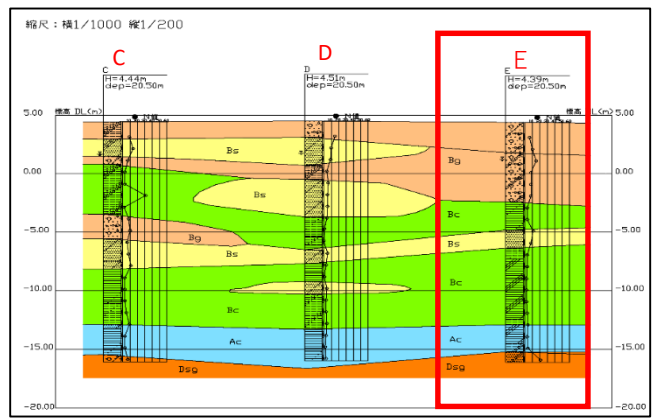
点名	X座標	Y座標
A	-16371.7773	-5168.200
B	-16370.848	-5166.995
C	-16370.848	-5161.769
D	-16370.848	-5160.563
E	-16370.848	-5154.981
F	-16370.848	-5151.884
G	-16370.848	-5149.213
H	-16370.848	-5146.362
I	-16371.53	-5154.024
J	-16371.53	-5151.20
K	-16371.53	-5148.385
L	-16371.53	-5145.566
M	-16371.53	-5142.747
N	-16371.53	-5139.928
O	-16371.53	-5137.109
P	-16371.53	-5134.29
Q	-16371.53	-5131.471
R	-16371.53	-5128.652
S	-16371.53	-5125.833
T	-16371.53	-5123.014
U	-16371.53	-5120.195

引照点座標一覧表

点名	X座標	Y座標	備考
IN1	-16370.847	-5169.191	調査開始点
IN2	-16371.045	-5165.819	調査孔中心
IN3	-16371.780	-5169.837	調査孔中心
IN4	-16370.863	-5149.061	調査孔中心
IN5	-16370.665	-5141.718	調査孔中心
IN6	-16371.521	-5138.229	調査孔中心
IN7	-16400.756	-5128.268	調査孔中心
IN8	-16400.207	-5118.843	調査孔中心
IN9	-16408.410	-5111.502	調査孔中心
IN10	-16368.376	-5167.091	調査開始点

境界種別凡例

△	プレート
○	境界
□	コンクリート



地層	土質	特徴
埋立土層	Bc	軟弱なシルト層および粘土が主体。不規則に細～中砂を挟み、径30～30mmの礫層を互層状に混入する。所々貝殻片を混入する。
	Bs	粗砂を主体とし、上部は改良固化材を混入する。全体に不規則にシルト分を混入し、所々レンガ・コンクリート片を混入する。
	Bg	径0～50mmの形状が不均質な礫を主体とし、マトリックスは粗砂からなる。上部は改良固化材を混入する。観測孔F、G地点のDL-13.00m付近は埋立建造物の可能性有。水気は多い。
沖積層	Bc	軟弱で均質な粘土を主体とする。上部は黒灰の細砂を含むシルトが混入する。全体に貝殻片を少量混入する。
	As	細砂が主体となり、全体に粘土を混入する。水気は多い。
洪積層	Bs	径0～30mmの垂角～垂円礫を主体とし、マトリックスは粗砂からなる。全体に粘土分を混入するが上部は特に割合が多い。所々貝殻片を混入する。水気は多い。
	Bsg	洪積礫質土層

